

大阪府20世紀美術コレクション

須田 剋太 展 抽象 | 具象

Suda Kokuta Abstract Figurative

2020年2月28日 — 3月15日

11:00～19:00 / 月曜休館 / 入場無料

enokojima creates osaka

enoco



大阪府20世紀美術コレクション

須田 剋太展

抽象 | 具象

Suda Kokuta

Abstract

Figurative

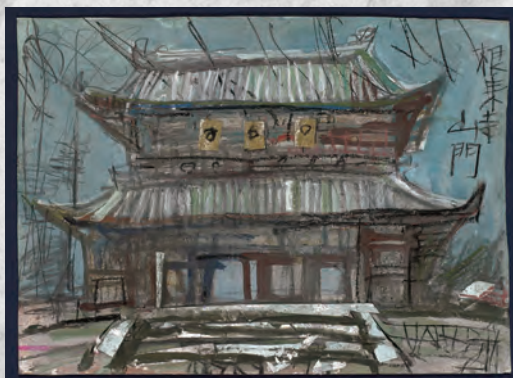
2020年2月28日[金] — 3月15日[日]

11:00～19:00 / 月曜休館 / 入場無料

大阪府立江之子島文化芸術創造センター 4階 ルーム1・2



-1



-2



-3



-4

須田 剋太 / Suda Kokuta

1906年埼玉県吹上町(現鴻巣市)生まれ。1927年埼玉県立熊谷中学校(旧制)卒業後、独学で絵を学ぶ。1934年 寺内萬治郎によって画家としての才能を見いだされ、戦前から戦後にかけて、光風会、文展、新文展、日展に具象絵画を出品。特選を三度受賞するなど、次第に画壇に認められる。京都、奈良などの伝統文化に憧れ、30代半ばの1941年に関西に移り住み、東大寺や新薬師寺などをテーマに作品を制作する。1949年に出会った長谷川三郎によって示唆された道元の「正法眼蔵」に大きな影響を受け、官展と決別し1950年頃から抽象絵画を描く。1952年に現代美術懇談会創立に参加。抽象画家として活躍していたが、1969年に犬養道子『日本人の記録 犬養木堂』の挿絵を担当したことを契機に、1971年からは週刊朝日『街道をゆく』の連載挿絵を手掛け、再び具象絵画を描きはじめる。その後は具象と抽象の両方を手掛け、晩年には陶や書の作品も制作した。1990年 84歳で肝臓がんのため逝去。大阪府は須田が亡くなる直前に本人から計2223点(油彩画 45点、グワッシュ 320点、挿絵 1858点)におよぶ作品の寄贈を受けた。

[会場 / 主催 / お問合せ先]

大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号

電話 | 06-6441-8050 FAX | 06-6441-8151 mail | art@enokojima-art.jp HP | www.enokojima-art.jp

※障がいなどにより配慮をご希望される場合はenocoまでご相談ください。

[アクセス]

地下鉄 (Osaka Metro) 千日前線・中央線「阿波座駅」下車、8番出口から西へ約150m。徒歩約3分。

※一般来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

enocoでは大阪府20世紀美術コレクション貸出事業実施中。公共空間等での展示にご活用ください。詳細はお問い合わせください。

